

### A. 「投票率向上に効果的な啓発事業」に係る提案

表彰	提案の具体的な内容	期待される効果
最優秀提案	<p><b>【小・中・高校での模擬選挙の充実】</b></p> <p>①小・中・高校で選挙の期間などを書き込めるカレンダーを設置する。投票日が近くなったら簡単な内容で模擬選挙を行う。模擬選挙の内容は小→中→高で上げていき、高校になればより現実に近いものを扱うようにする。</p> <p>②小中高で本番同様の模擬選挙をし、全国で集計して実際の選挙結果と比較し、意見の相違点を調べる。</p> <p>③若者の投票率が高いスウェーデンでは、「学校選挙」というもので投票方法を学ぶことができるし、模擬投票ではあるが、投票前に、政党についての授業を行うことができるため、自分の意思をもって投票ができる。</p>	<p>①選挙は若者からすると少し難しい、遠いことのように感じています。小学校のころから選挙の仕組み、方法などを理解しておけば、選挙に対するマイナスのイメージをなくすことが期待される。また、高校などで、現実に近いものを扱うことによって、選挙の考え方も得ることが期待される。</p> <p>②幼いころから政治に触れることで身近なもの実感させると同時に政治家も若い世代の意見を取り入れることができる。</p> <p>③投票に行くとか、政治に関わるという実感が今のままだとわからないと思う。テレビで見ても、難しいことを言っているし、自分には関係ないとも思ってしまうと思うから、このように、政治に身近なものにできたら投票がとても大切なことだと実感できて、政治に関心・興味を持って、投票率が上がると思う。</p>
優秀提案	<p><b>【投票所付近のインスタ映え化】</b></p> <p>投票所の外に若者が思わず写真を撮ってしまうようなかわいらしいお菓子やおいしい料理の屋台を設置する。</p>	<p>コロナ禍で売り上げがのびなくなった飲食店を助けるとともに、インスタ映えを求めている若者をたくさん集める。「#投票」などをつける若者が多くなることが期待される。</p>
優秀提案	<p><b>【若者同士のディスカッションの配信】</b></p> <p>若者を発信する立場に置くために、若者同士でのディスカッションを動画配信する。その広報を学校で配布し、動画を見たうえで、授業などでディスカッションを行う。さらに広報を投票所入場券と併せて有権者に郵送する。</p>	<p>YouTubeなど動画に日ごろから触れる機会が多いので、広報だけよりも、動画の方が親しみやすく、政治に興味を持つようになる。また、動画の内容が若者主体なので、身近に感じることができる。それを学校で取り入れると、今まで関心のなかった人も興味をもつきっかけとなる。</p>

### B. 「投票環境向上に資する選挙制度の導入」に係る提案

表彰	提案の具体的な内容	期待される効果
最優秀提案	<p><b>【コンビニでの不在者投票用紙受領】</b></p> <p>コンビニで不在者投票用紙を受領できるようにする。</p>	<p>マイナンバーカードを利用して、コンビニで住民票を受け取ることができるように、不在者投票用の投票用紙を受け取ることができるようにし、不在者投票を利用しやすい環境を整えることにより、投票率を向上させる。</p>
優秀提案	<p><b>【学生による投票事務の従事】</b></p> <p>選挙の受付等の事務を高校生や大学生など若い人が行う。</p>	<p>大人の人が受付をするより、同じ年代の人がいることで若い人でも緊張せずに投票に行ける。</p>
優秀提案	<p><b>【数値化による候補者比較】</b></p> <p>全ての立候補者が力を入れていることをパーセントで表し、政策を比較できるようにする。</p>	<p>有権者の視点で、統一された表記にすることで投票率が上がる。また、パーセント表記は政治に興味がない人も分かりやすい。</p>